



団体名	レッドイヤースライダーズ		
団体の所在地	神戸市垂水区	代表者名	三根 佳奈子

1. 事業名	奥須磨公園における外来種ミシシippアカミガメの防除活動と生物相調査		
2. 実施期間	平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月		
3. 主な実施場所	神戸市須磨区 奥須磨公園		
4. 活動形態	普及啓発活動 調査活動		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>2014 年 4～11 月にかけて奥須磨公園内の小松池、大池、新池でアカミガメ駆除と生物相調査を行った。調査は、当会ボランティアや学生に協力していただいた。</p> <p>小松池では 5 目 10 科 12 属 12 種の生物が捕獲され、このうち 6 種(50%)は外来種であった。大池、新池ではそれぞれ 7 目 7 科 7 属 7 種、3 目 6 科 7 属 7 種の生物が捕獲されたが、その内 1 種(14%)、4 種(57%)が外来種であった。小松池と新池は生物相の大半を外来種に占拠されていることが明らかとなった。また、小松池で多く捕獲されたのはスジエビ 452 匹、タイリクバラタナゴ 92 匹、モクズガニ 48 匹であった。</p> <p>小松池では 2011 年よりアカミガメ駆除を行っており、継続的にアカミガメを捕獲し続けることで駆除は可能であることが分かっている。</p> <p>今年度事業により小松池で捕獲されたアカミガメの CPT(生息密度の指標=捕獲されたカメの数/網の数)は、4 月 0.05、5 月 0.20、6 月 0.00、7 月 0.67、8 月 0.00、9 月 0.33、10 月 0.00、11 月 0.00 であり、生息密度を低いまま維持することができた。</p>		
6. 成果・反響・反省点等	<p>アカミガメ駆除によってカメ類やその他の生物相がどのように変化していくかを調べるのが本事業の目的の 1 つであるが、この変化を短期間で評価することは難しい。長期的なモニタリングが不可欠であるが、その方法を整備し、同様の活動を行っている団体、機関と協力し、専門家の意見も交えてモニタリングを継続していきたい。</p> <p>また、本事業で調査を行った 3 つのため池において、捕獲される生物種、外来種の割合、環境が異なっていたことから、外来種駆除や在来種保全の方法は池ごとに検討する必要がある。</p>		
7. 成果物	なし		
8. 活動写真説明	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>調査を行った小松池</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>捕獲されたブルーギルとブラックバス</p> </div> </div>		